えちぜん

祝 vol.50 2017.11.1

議会だより

ECHIZEN
越 前 町

人と技
海土里 織りなす
快適なまち

秋のイベント

主な内容

- 臨時会・定例会報告 …… 2p ～ 4p
- 町政を問う（一般質問）…… 5p ～ 7p
- 平成28年度決算審査 …… 8p ～ 9p
- 一般質問 ～その後～ …… 10p
- 議員の議会・委員会等出席状況 …… 11p
- がんばってます!・編集後記 …… 12p

さかなまつりは、大勢の人で賑わいました

こんなことを審議しました

第1回臨時会

会期　8月3日

専決処分の承認（平成29年度越前町一般会計補正予算（第4号））　4,932万5千円

〈法人町民税の償還金・還付加算金の増額〉

平成28年度に法人町民税の上期分を予定納付し企業の最終的な税額が確定したので、納め過ぎの税金を還付する予算を増額しました。

平成29年度糸生・四ヶ浦・城崎小学校パソコン等機器購入事業物品売買契約について

糸生小学校・四ヶ浦小学校・城崎小学校のパソコン等の保守期限が終了するため、新しい機器購入の契約を締結しました。

◇契約金額　：5,205万6千円
◇契約の相手方：福井システムズ㈱

越前町統合学校給食センター（仮称）

●建築工事請負契約について

〈建築工事・電気設備工事・外溝工事〉

◇契約金額　：7億2,468万円
◇契約の相手方：㈱大生・岬建設㈱・橋本建設㈱越前町統合学校給食センター（仮称）建築工事特定建設工事共同企業体

●機械設備工事請負契約について

〈機械設備工事・厨房設備工事〉

◇契約金額　：5億2,336万8千円
◇契約の相手方：オタ建設㈱・㈱丸安建設・國成建設㈱越前町統合学校給食センター（仮称）機械設備工事特定建設工事共同企業体

＜第１回臨時会に提出された議案＞

議案番号	件名	議決の結果
承認第13号	専決処分の承認を求めることについて（平成２９年度越前町一般会計補正予算（第４号））	全会一致
議案第38号	平成２９年度糸生・四ヶ浦・城崎小学校パソコン等機器購入事業物品売買契約について	全会一致
議案第39号	越前町統合学校給食センター（仮称）建築工事請負契約について	全会一致
議案第40号	越前町統合学校給食センター（仮称）機械設備工事請負契約について	全会一致

9月定例会

会期　9月20日～27日

一般会計補正予算

エネルギー構造高度化・転換理解促進事業　9,069万8千円

《ブローホール波力発電システム地域理解促進調査・装置改良委託料他》

平成27年9月末に越前町に帰属され、「一般社団法人ブローホール波力発電機構」が調査研究をしているブローホール発電システム（小樟地係に設置）を、資源エネルギー庁の国庫補助事業を活用して、装置を改良するとともに、地域理解促進のための調査を行います。

①ブローホール波力発電装置の改良

従来は、30kwタービン発電機1基でしたが、今回は15kwの発電機2基に変えることでロスを減らし発電力を向上させる計画です。

②地域理解促進のための調査等

地域住民への講演会・見学会や児童・保護者対象の出前授業を開催します。

また、隣接するゲートボール場に防犯灯を設置し電力を供給したり、四ヶ浦小学校に発電モニターを設置して調査を行います。

その他、敷地内に電気自動車用充電用ポストを設置します。

【ブローホール波力発電システムとは】自然海岸の潮吹穴に着目し、人口的にブローホールといわれる空気室を作り、その中で波の上下動で生じる風をタービンに送って回転させ発電させる仕組み。

現場踏査(小樟地係)(ブローホール波力発電システム調査・改良委託)

町単独道路改良事業（市乙坂線・神明線）　650万円

町道の改良や災害防止のための工事を行い、安心安全な道路網を整備します。

町道市乙坂線道路改良現場（市区）

現場踏査（町道市乙坂線道路改良）

体育施設管理運営事業（朝日総合運動場敷地購入費他）　8,201万4千円

朝日総合運動場（B&G）の借用敷地を買い取ります。

現場踏査現場踏査（朝日総合運動場敷地買い取り）

契約

平成29年度越前町防災行政無線戸別受信機整備工事請負契約について

災害時における迅速かつ正確な情報伝達と、平時には行政情報を町民に周知するため、防災行政無線の戸別受信機を各戸に設置する工事請負契約を締結しました。

◇契約金額：1億2,960万円
◇設置する地区：織田地区
◇契約の相手方：㈱ほくつう　福井支社

議員発議

全国森林環境税の創設に関する意見書の提出について

全国森林環境税創設促進議員連盟から、国民に等しく負担を求めることを基本とした「全国森林環境税」導入の実現を求める意見書を政府並びに関係機関に対し、提出してほしいとの陳情がありました。

山村地域の市町村にとって、森林吸収源対策や安定した雇用の場の確保などの取組みが、国土の保全や地方創生等にもつながることから、全会一致で意見書を可決し、「全国森林環境税」導入の実現を求めることとしました。

請願

越前丹生農業協同組合から提出された『農業振興に関する請願』を採択しました

農業従事者の高齢化が進む中、今後の本町の農業振興を図るため、これまでの米中心の営農に加え、水田園芸等の生産拡大を進め、農業所得の向上を図る必要があるとして、次の４項目の請願がありました。

①地域における「水田フル活用ビジョン」を基に、積極的に水田園芸振興策を講じること
②水田農業振興に向けた町独自の振興策を講じること
③学校給食においての更なる地元産食材の活用に向けた協議の確保などの取組みが、国土の保全や地方創生等にもつながることから、全会一致で意見書を可決し、「全国森林環境税」導入の実現を求めることとしました。

④野生鳥獣による農作物被害対策についての関係団体と連携し継続した取り組み

平成30年からの米の生産調整制度廃止を控え、生産者が意欲を持って取り組める地域農業の確立を図りたいとする、その趣旨を尊重し全力一致で採択しました。

人事

次の方々の選任について、全会一致で同意しました。

人権擁護委員候補者の推薦について

鷲田　武和氏（宮崎地区・再）
山下三紀代氏（越前地区・新）

越前町監査委員の選任同意について

児玉　忠　氏（朝日地区・新）

臨時会・定例会報告

＜９月定例会提出された議案等＞

議案番号	件名	議決の結果
報告第５号	平成２８年度決算に基づく健全化判断比率の報告について	報告のみ
報告第６号	平成２８年度決算に基づく資金不足比率の報告について	報告のみ
報告第７号	平成２８年度越前町一般会計継続費精算報告書	報告のみ
承認第 14 号	専決処分の承認を求めることについて（平成２９年度越前町一般会計補正予算（第５号））	全会一致
承認第 15 号	専決処分の承認を求めることについて （平成２９年度越前町公共下水道事業特別会計補正予算（第３号））	全会一致
議案第 41 号	平成２９年度越前町一般会計補正予算（第６号）	全会一致
議案第 42 号	平成２９年度越前町介護保険事業特別会計補正予算（第１号）	全会一致
議案第 43 号	平成２９年度越前町簡易水道事業特別会計補正予算（第３号）	全会一致
議案第 44 号	平成２９年度越前町公共下水道事業特別会計補正予算（第４号）	全会一致
議案第 45 号	平成２９年度越前町集落排水事業特別会計補正予算（第２号）	全会一致
議案第 46 号	平成２９年度越前町上水道事業会計補正予算（第１号）	全会一致
議案第 47 号	平成２９年度越前町防災行政無線戸別受信機整備工事請負契約について	全会一致
認定第１号	平成２８年度越前町一般会計歳入歳出決算認定について	全会一致
認定第２号	平成２８年度越前町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	全会一致
認定第３号	平成２８年度越前町介護保険事業特別会計 （保険事業勘定・介護サービス事業勘定）歳入歳出決算認定について	全会一致
認定第４号	平成２８年度越前町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について	全会一致
認定第５号	平成２８年度越前町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	全会一致
認定第６号	平成２８年度越前町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	全会一致
認定第７号	平成２８年度越前町集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	全会一致
認定第８号	平成２８年度越前町温泉事業特別会計歳入歳出決算認定について	全会一致
認定第９号	平成２８年度越前町農林漁業体験実習館事業特別会計歳入歳出決算認定について	全会一致
認定第 10 号	平成２８年度越前町土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について	全会一致
認定第 11 号	平成２８年度越前町上水道事業会計決算認定について	全会一致
認定第 12 号	平成２８年度越前町国民健康保険病院事業会計決算認定について	全会一致
同意第 25 号	人権擁護委員候補者の推薦について	全会一致
同意第 26 号	人権擁護委員候補者の推薦について	全会一致
同意第 27 号	越前町監査委員の選任について	全会一致
請願第１号	農業振興に関する請願について	全会一致
陳情第１号	全国森林環境税の創設に関する意見書採択について	全会一致
発議第６号	全国森林環境税の創設に関する意見書の提出について	全会一致

いっぱん質問

町政を問う！

木村　繁　議員

越前町における農業振興について

木村　越前町における農業振興策と町独自の支援は？

町長　主食米から水田作物への転換には、新たな施設や機械が必要になることもあり、あまり進んでいるとは言えない。今後は、園芸作物の省力化に対する支援ができないかを検討し、一層の水田園芸作物への転換を図りたい。

担い手への農地集積は、多数の生産組合の法人化などにより構造改革が図られており、集積が進んでいると言える。また担い手へは、必要に応じ機械の導入や施設の整備を支援し、効率的かつ安定的な農業経営に寄与している。

園芸作物のブランド化については、町振興作物への補助額や対象品目の見直しの検討や効果的な支援を行い、産地としての定着を図っていきたい。

丹南広域観光および首都圏・中京圏における町の認知度向上について

木村　丹南広域観光行政での首都圏、中京圏における認知度向上と情報発信力の取り組みは？観光庁の進めるテーマ別観光との連携についてどうお考えか。

町長　丹南地区では、各地区における伝統工芸を体験し周遊していただく観光に取り組んでいる。また、越前町では海をテーマにした乗船体験や、越知山をテーマにした登山・トレッキングなどを計画している。これらのテーマ別の周遊観光を、今後の観光ＰＲの中にいかにして組み込んでいくかが大切だと考えている。

小・中・高校における漢字教育について

木村　小中学生の漢字能力および今後の漢字教育についての所見を伺う。

教育長　小学校では白川文字学を活かした漢字学習を取り入れ、漢字の成り立ちを学ぶことで漢字への興味関心をより深めるように努めている。また、この授業は公開授業としており、保護者や地域の方、他の学校の教員も参観できるようにしている。

藤野　菊信　議員

越前町独自の子育て支援策について

藤野　独自の子育て支援策として、子どもの出産時、小学校入学時、中学校入学時に、町民全員で1人の子どもを支援し成長を見守る意味で、町の人口と同数の2万2千円の祝金を出すことはできないか。

町長　現在実施している支援事業は、①高校生の通学支援事業（高校生の通学定期券を月額5千円とし、超える部分は町が負担する事業）②出生時記念品支給事業（出生記念品としてベビー食器セットやおもちゃを贈る。昨年度実績：122世帯）③第3子出産育児祝金支給事業（1人につき5万円支給。昨年度実績：22人）④チャイルドシート購入助成事業（昨年度実績：67組）。

今後も妊娠期から子育て期には、切れ目なく隙間なく対応し、母子保健、子育て支援を充実させるつもりでいる。

また、ひとり親の家庭、疾病や、要支援保護児童がいる家庭等に対し、より一層きめ細やかな子育て支援に取り組む。若い世代の結婚、妊娠、出産、育児に対しての希望がかなえられるよう努力したい。

出産時や小学校入学時、中学校入学時などに、越前町全体で子どもの成長を祝い次世代を担う子供たちが健やかな成長を願うことは、活力ある地域づくりにもつながるものであるので、今後検討していきたい。

いっぱん　質問

町政を問う！

一般質問とは、町長に対して事務の執行状況や将来に向けての考えをただすものです。

髙田 浩樹 議員

子育て支援におけるニーズの把握について

髙田　子育て支援の量や質を支えるため、その根幹となる、子どもや保護者、地域のニーズの把握のあり方を伺いたい。

町長　計画策定に伴い、子育て世帯の保育や子育て支援に関する利用状況、今後の利用希望などのニーズ調査を行っている。また、毎年度「子ども・子育て支援会議」を実施し、施策の点検・評価を行うとともに、必要に応じて計画の見直しを行っている。

髙田　取得した情報を二ーズとして吸い上げていく仕組みや取り組みを伺いたい。

民生理事　保護者からの要望は課内で共有。必要に応じ各部門へ情報を提供し、取り組みを求めていきたい。各種委員会等で把握したニーズを取りまとめて提案し、施策に反映できるようにと考えている。

髙田　「子ども・子育て支援会議」の資料等のウェブ掲載など、情報公開について検討いただきたい。

民生理事　今後、子育て支援に関する情報公開を、ホームページ等を通じて積極的に行っていきたい。

国民健康保険の県単位化による町および加入者への影響

髙田　平成30年度より、国保の財政運営の責任主体が県になるが、町や加入者への影響を伺いたい。

町長　町としては、財政収支の赤字の削減や解消が求められること、また、安定的な財政運営のため、町独自の国保財政計画を策定し、これをもとに保険税率の見直しを行う。特定健診や糖尿病重症化予防などの保健事業を充実させ、医療費の適正化を図る。

国保加入者への影響は、保険税率の見直しによる保険税額の変動や、特定健診の受診などの保健事業に積極的に取り組んでいただくことが必要になると考える。

髙田　県は、国保税の統一化に向け検討しているようであるが、現時点での所見を伺いたい。

民生理事　県は、直ちに国保税の統一とは考えていないようであるが、今後、統一化に向けて保険料率を定めたいとの方針を出している。町としては、医療費水準の格差をなくすことが最初の目的であると考える。

佐々木 一郎 議員

保育料の無料化（第2子以降）について

佐々木　町長選挙の公約の中に「子育て支援のさらなる充実」がある。平成29年4月1日現在、本町では第2子である子どもが188人いる。この子どもたちの保育料を全て無料にすると、1年間に3，078万円の財源が必要となる。一方、平成28年度の当町に対する、ふるさと納税額は7，814万2千円。「第2子保育料無料化の財源」に、ふるさと納税を充当してはどうか。

町長　現在、ふるさと納税は通学支援や小中学校改修に充当。ふるさと納税の額は、年度により変動し安定性を欠くため、無料化を実現するには持続可能な財源を確保することが大切。政府は、現在幼児教育無償化を検討中である。国の動向を注視していきたい。

若い世代が安心して結婚、妊娠、出産、育児ができるよう、妊娠期から子育て期にわたり、切れ目なく母子保健サービスと子育て支援サービスを一体的に提供し、子供や保護者と寄り添い、触れ合い、顔の見える子育て支援策に力を注いでいきたい。

若者の定住促進について

佐々木　若者が本町で家を新築した時、100万円を助成する制度を設けてはどうか。町では平成28年に39戸新築されている。

彼らが家を建てれば固定資産税が入る。定住すれば町民税も増える。また人口が増えれば地方交付税も増えることになる。

町長　人口減少対策は、「待ったなし」の状態であり、子育て環境の整備と同時に、若い世代がこれからも越前町に住みたい、また、住んでよかったと思うことのできる住宅政策を初めとした移住・定住施策を実施していく所存であり、今後現行制度を核とし更なる定住促進策を検討する。

笠原 秀樹 議員

スポーツアスリート育成に向けた制度拡充について

笠原　福井しあわせ元気国体、東京オリンピックに向け、アスリートたちは頑張っている。

練習やクラブの維持、各種遠征等に多額の費用がかかる。競技に要する費用負担を軽くするための制度拡充が必要であると考える。また、助成費や激励費をもう少し早めに支給はできないか。

町長　全国大会等に出場する選手に交通費や宿泊費の一部を助成する「スポーツ振興補助金制度」がある。また、国体やオリンピックに出場する選手に対しては、町体育協会から激励費を支給している。

早めに激励することによって、選手の意気込みを引き出すということも大事だと思う。町出身者が日本代表になることは、町にとっても喜ばしく名誉なことであり、※トップアスリートを目指す子どもたちにとっても目標となる。町体育協会と連携して支援していきたい。

笠原　種目によっては、町内にクラブがないので町外のクラブに加入して頑張っている人もいる。そのような人が好成績を上げて全国大会に出場した場合も、対象となるよう制度を改善すべきである。

町長　大きな目標に向かって努力する人たちへの支援は必要であり、トップアスリートの育成は大切なことだと考えている。

これまでどおり、大会参加にかかる必要経費は町が補助し、激励については町体育協会、というように行っていきたいと考えている。

※トップアスリート
アスリート（運動選手）の中でも一流と認められる者のこと。

米沢 康彦 議員

底曳き網漁船の老朽化への対策について

米沢　本町の老朽小型底曳き網漁船の更新費用の支援策についてお伺いしたい。

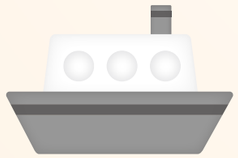
町長　現在、町漁協所属の底曳き網漁船は50隻が操業し、その平均船齢は39年と高船齢化が進み、船体や機関の修繕費が漁業経営を圧迫していることは承知している。

県は、漁業経営基盤を強化し底曳き網漁業の生産量増加対策として、1億円を上限として新船建造費用の3分の1の補助事業を開始する。

町としても意欲のある漁業者が、将来にわたり希望を持って漁業経営に取り組めるよう、小型底曳き網漁船の更新について時機を逸しない対応が必要と考える。漁協と連携し、安定的な漁獲高確保に向けた漁船数を維持するための支援策を検討している。

県に対しては、今後も継続可能な支援と事業費の確保を強力に要望していく。

米沢　本日は若い青年たちも傍聴に来ている。ただいまの町長の一言一句に大変勇気づけられ、さらに頑張ろうという邁進の思いを強く抱いたことと確信している。今後は町として、県の支援策を最大限に利用し、県と町が連携し、車の両輪のごとく小型底曳き網漁船の更新を後押ししていただくことを切にお願いする。



平成28年度決算審査　町の財政状況を審査しました

〈一般会計〉

7億5,937万円の黒字決算（実質収支額）

収入総額 139億7,483万円 − 支出総額 131億5,248万円 − 翌年度に繰越する額 6,298万円 ＝ 実質収支額 7億5,937万円

9月議会定例会で、平成28年度一般会計と9特別会計、2事業会計の決算を審査した結果、全会一致で認定しました。審査時には、次のような質疑がありました。

総務部門

防犯パトロールについて

南議員　不審者が出没したときの対応は。

防災安全課長　不審者情報が入れば、各学校に連絡し保護者への不審者情報をメール提供する。また、防犯隊へ連絡し巡回パトロールを実施する。

通学支援補助について

青柳議員　高校生の通学支援補助額に上限はないのか。福井市や敦賀市の高校への通学でも対象となるのか。

企画財政課長　標準的な公共交通機関の利用であれば、遠方への通学でも補助対象となる。

青柳議員　町民が町外への転出するタイミングのひとつに、高校進学を機に転出する方がいるが、金銭的な負担によるものではなく、通学時間の負担がその理由になっていると考えることから、補助金額の上限は定めた方がいいと考える。

町長　高校生の通学費用に対する補助制度は、子育て支援の一環として実施していると捉えていただきたい。

防災士の育成について

青柳議員　防災士資格取得の補助を行っているが、資格取得後の活動の状況はどうか。役場主体で活動の場を提供して欲しい。

防災安全課長　水防訓練への参加や防災士の勉強会を実施したい。

防犯灯のLED化の効果について

吉村議員　多額の費用をかけて防犯灯をLED化にしたがその効果は。

防災安全課長　平成27年度決算と比べて防犯灯の電気料金が約40％、金額にすると約600万円削減できている。

防災行政無線整備について

吉村議員　平成29年度は織田地区で防災行政無線整備が行われているが、設置できなかった在庫の取扱いはどうなのか。

総務課長　事前に区長に設置件数を調査してもらい、その設置台数で契約するが、直前になって取り付けできない場合は、在庫を役場で保管することになる。新たに設置の希望があれば、在庫がある限り無償で取り付けは可能。

民生部門

敬老会の在り方について

青柳議員　敬老会の参加率が28.3％と低い。やり方を改善できないか。

民生理事　敬老会のご案内を郵送するだけでなく、地域の声掛けなどで参加率を上げていきたい。

障がい者支援について

髙田議員　専門員による発達障害の相談会と教室の参加者数は。

福祉課長　相談会には9名、教室については29名の参加である。

結婚支援について

髙田議員　若者出会い交流応援事業の実績はどうか。

福祉課長　商工会青年部では20名、恋のおせっ会33名、レッツトライ越前55名の参加があり、カップルは合計16組成立した。

ごみ袋の料金収入確保について

田中議員　ごみ袋に広告を掲載し、その広告収入をごみ袋の価格低減に結び付けられないか。

民生理事　他市町の動向を踏まえ検討する。

入浴施設の割引について

佐々木議員　町が管理する入浴施設が8施設あるが、若竹荘だけ高齢者割引がないので検討して欲しい。

民生理事　理事者と協議する。

資源回収奨励補助金について

佐々木議員　小中学生が実施する資源回収に対して、もう少し単価を上げられないか。

民生理事　小中学生にとっては環境学習の一環でもあるので、引取単価の見直しを検討したい。

国保健康保険事業特別会計

後発医薬品と特定検診について

髙田議員　ジェネリック医薬品の使用率と、特定検診の受診率はどうか。

健康保険課長　使用率は平成29年7月が71.3％であった。平成25年度は53.4％、平成26年度は61.3％であることから、順調に向上している。

特定検診受診率は、平成25年度で36.5％、平成26年度39.4％、平成27年度38.9％であった。

ジェネリック医薬品について

佐々木議員　ジェネリック医薬品の使用率が上がることで、医療費の適正化に努める団体として厚生労働省から交付金が上乗せされる。ジェネリック医薬品は、窓口での個人負担も安く、国保会計からの負担も少なくなることから使用率向上に努めていただくよう要望する。

新薬の利用者は

青柳議員　町内に高価な新薬を服用している人はどれだけいるのか。

民生理事　C型肝炎治療患者が6人。

産業部門

観光施設の指定管理について

笠原副議長　悠久ロマンの杜の指定管理者はプロポーザル時に事業目標を掲げていると思うが目標達成できているのか。

副町長　入尾・笈松地区の活性化に尽力している。指定管理期間半ばでもあり、もうしばらく見守って欲しい。

田中議員　海鮮市場マーケット棟の指定管理委託料を経営努力で減額させたいと聞いていたが、3年間変わっていない。

商工観光課長　収支報告では経常収支が赤字となっているため指定管理委託料は満額支給している。

青柳議員　休業中である「よって駅ね」の今後は。

産業理事　現在は、休業している。今後については検討中。

建設部門

移住活動事業について

髙田議員　ホームページ移住支援サイト「SUMOSSE」を立ち上げ、積極的に活動している。都市部での移住セミナー開催から移住に結びついた成果は。

定住促進課長　セミナーは43組の相談を受けた。ラフーラ、モハージュを利用した後、移住するに至った人は8人いる。

ラフーラ

モハージュ

伊部議員

多世帯近居住宅取得補助実績が10件あるが、建築業者が制度を知らなくて補助を受けられない場合の救済はできるか。また越前地区では建築条件が厳しいため、地域性を考慮し条件緩和できないか。

副町長　県の補助事業であるため、地域的な条件緩和も含めて要望する。

教育部門

田中議員

文化的景観で水仙畑の指定を目指しているが、進捗はどうか。

文化歴史館長　指定に向けて水仙生産者でワークショップ等を開催している。計画期間は4年で、前半2年で景観保存調査、後半2年で景観保存計画を策定する。

学校教諭の負担解消について

佐々木議員　中学校の部活指導教諭の負担が大きい。働き方改革ができないか。

教育長　学校教諭の負担解消が社会的にも課題になっており、県を挙げて取り組んでいる。県では今年から部活動講師を採用しており、本町にも1人着任している。

いっぱん質問…その後

一般質問の答弁が、その後どのように町政に反映されているのかを調査しました。

ふるさと納税制度見直しについて

越前がにや越前水仙、越前焼、その他さまざまな特産品があるのに、十分な情報発信がされていない。ＰＲの手段として、ふるさと納税制度を有効に活用すべきではないか。

（平成27年12月定例会・田中太左エ門議員）

答弁（町長）

寄附をしてくださる方々の思いを尊重しながら、適正な還元率の中で返戻品の充実を図り、地元特産品の消費拡大につながるような取り組みを検討する。

- 平成28年10月からふるさと納税ポータルサイト「さとふる」に登録し、平成28年度実績は寄附件数 2,353件、寄付金額 78,742,000円と前年度に比べて、多くの寄附をいただきました。（参考：平成27年度実績 寄附件数 39件、寄付金額 13,155,000円）

- この要因にはインターネットによる寄附の受付を開始したこと、町内の特産品を金額に応じて選べるようにしたことが挙げられる。平成29年９月現在の返礼品事業者登録数は 11社で返礼品の種類は 50種類である。返礼品は随時受付をしており、町のＨＰや広報誌を通じて協力してもらえる事業者を増やしていきたい。

- 寄附をしてくださった方々の思いを尊重し、その活用方法についても広く公表して、越前町の応援者を増やしていきたい。

越前町 ECHIZEN × さとふる

「さとふる」のホームページをご覧ください

議会・委員会・一部事務組合等議員出欠状況

（６月20日～９月27日）

○…出席　×…欠席　△…遅刻・早退　（　）は欠席の理由　（公）は公務、（葬）は葬儀参列

月日		曜日	諸会合名	北島議長	笠原副議長	髙田議員	南議員	村上議員	藤野議員	米沢議員	田中議員	佐々木議員	齋藤議員	伊部議員	青柳議員	木村議員	吉村議員
7	3	月	福井県町議会広報研修会	―	―	○	○	○	○	○	○	○	―	―	―	―	○
			議会広報特別委員会	―	―	○	○	×	○	○	○	○	―	―	―	―	○
	4	火	議員月例会	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			議会運営委員会	○	―	―	―	―	―	―	○	○	○	○	○	―	○
	10	月	議会運営委員会	×	―	―	―	―	―	―	○	○	○	×	○	―	○
	13	木	総務文教厚生常任委員会	○	―	―	○	×	○	―	―	○	―	○	○	―	―
	14	金	原子力発電安全対策特別委員会	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○
			全員協議会	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	19	水	県選出国会議員への要望活動（東京）	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	20	木	東京･広域防災拠点施設(そなエリア)視察	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	26	水	議会運営委員会	○	―	―	―	―	―	―	○	○	○	○	○	―	○
	31	月	議会運営委員会	○	―	―	―	―	―	―	○	○	○	○	○	―	○
8	3	木	議会運営委員会	○	―	―	―	―	―	―	○	○	×	○	○	―	○
			臨時会	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	7	月	議員月例会	(公)	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	8	火	全員協議会	○	(公)	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			公立丹南病院組合議会全員協議会・定例会（鯖江市役所）	―	(公)	○	―	―	―	―	―	―	―	―	―	○	○
	9	水	鯖江･丹生消防組合議会全員協議会定例会（越前町役場）	―	―	―	―	―	○	―	○	○	―	―	○	―	―
	17	木	丹南広域組合議会全員協議会・定例会（鯖江市役所）	○	―	―	―	―	―	―	―	―	○	○	○	―	―
	22	火	鯖江広域衛生施設組合議会全員協議会・定例会（鯖江市役所）	―	―	―	○	×	―	○	―	○	―	―	―	―	―
	25	金	町議会議員研修会(自治会館)	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	(葬)	○	○	○
9	4	月	議員月例会	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	8	金	議会運営委員会	○	―	―	―	―	―	―	○	○	○	○	○	―	○
	9	土	町内中学校体育大会	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	11	月	総務文教厚生常任委員会	○	―	―	○	×	○	―	―	○	―	○	○	―	―
	13	水	全員協議会	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	16	土	町内小学校体育大会	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	20	水	９月定例会(定例会)	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			産業土木常任委員会	○	○	○	―	―	―	○	○	―	○	―	―	○	○
	21	木	９月定例会（現場踏査／全員協議会）	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	△	○	○	○
	22	金	９月定例会(全員協議会)	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	25	月	９月定例会(全員協議会)	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	△
	26	火	９月定例会(全員協議会)	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			９月定例会(定例会)	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	27	水	議会運営委員会	○	―	―	―	―	―	―	○	○	○	○	○	―	○
			議会広報特別委員会	―	―	○	○	×	○	○	○	○	―	―	―	―	○

原子力発電安全対策特別委員会視察（7月14日）

県選出国会議員要望（7月19日）

東京･広域防災拠点施設(そなエリナ)視察(7月20日)

えちぜん議会だより vol.50

発行日／平成29年11月1日
編　集／議会広報特別委員会

〒916-0192 福井県丹生郡越前町西田中13-5-1
TEL（0778）34-8712 FAX（0778）34-8726
メールアドレス／gikai@town.echizen.lg.jp

がんばってます！ ～さつき会～

私たち「さつき会」は、2010年に貴田さんの呼びかけで、大樟、道口地区の5人で始まりました。週に1回越前コミュニティセンターに集まり、細く切った古布をコツコツ編み上げて、環境に優しい布製草履を作っています。素材は不用になった洋服や布、浴衣その他いろいろです。エコに貢献でき実用的で、友達にプレゼントしても喜んでもらえるので、さらに頑張ろうと思います。

貴田さんは、これまでに作品を総勢200人に配った実績があり、「布製だから、足触りは柔らかいし、歩きながら床も掃除できるのよ」と、草履のよさを知ってもらえるよう積極的な活動を続け今日に至っています。

私たちは作った布草履を、越前コミュニティセンターで年に2回ずつ展示をさせていただいています。

また、2015年に朝日地区で開催されました福井県市町文協選抜美術展の特別部門でも展示させていただき、会員一同、嬉しく思っています。

今年の越前地区の文化祭にも出展し、会場では製作体験会を開いて、布草履の魅力を広めていこうと思っています。

“がんばってる”サークルを紹介します。

～「がんばってます」コーナー掲載団体募集～

このコーナーは、町内で活動している楽しいサークル、ユニークなサークルを紹介しています。
自薦、他薦は問いません。
ご応募をお待ちしております。

〈連絡先〉　議会事務局　☎0778－34－8712

傍聴席へどうぞ　次の議会は12月です

（日程については、議会事務局にお問い合わせください）　TEL.0778-34-8712

編集後記

実りの秋。芸術の秋。スポーツの秋。季節は確実な秋の深まりをみせています。

町内でもさまざまな催しものが開催され、その一部を表紙に紹介しました。

新広報特別委員会も半年が過ぎました。より多くの町民の方に町政や議会活動に関心を持っていただけるよう、分かりやすく読みやすい「議会だより」の編集に、委員一同奮闘しているところです。皆さんのご意見、ご感想をぜひお聞かせください。

（吉　村）

◆◆議会広報特別委員会◆◆

委員長　田中　太左ヱ門
副委員長　藤野　菊信
委　員　吉村　春男
佐々木　一郎
米沢　康彦
村上　哲
南　ゆかり
髙田　浩樹

バックナンバーが町のホームページでご覧いただけます

http://www.town.echizen.fukui.jp/chousei/04/index.html